

つくば市二の宮小学校の「通学路」で交通安全対策の社会実験を実施しました

～道路研究部～

近年、登下校中の児童生徒を巻き込む交通事故が相次いで発生するなど、通学路における児童生徒の交通安全の確保が重要な課題となっています。

国総研とつくば市は、つくば中央警察署の協力の下、つくば市二の宮小学校の「通学路」で、交通安全対策を実際の道路で試行する社会実験を実施しました。

- 二の宮小学校の通学路に指定されている二の宮～小野川に至る市道については、道路幅が狭く、地域外からの通過交通の流入や、自動車の走行速度が高いことなど、通学する児童生徒の安全が問題となっていました。
- 実験では、路側帯拡幅・カラー化、交差点入口狭さく、ハンプ(凸部)、シケイン(屈曲部)設置等の対策を試行し、走行速度、走行位置、交通量、安心感等の効果を把握するための調査を実施しています。



通学する児童とすれ違う自動車



路側帯拡幅・カラー化



ハンプ(凸部)



交差点入口狭さく

- 実験結果は、つくば市においては、つくば市二の宮小学校通学路の交通安全対策の事業実施に活かすとともに、国総研においては、全国の生活道路の交通安全対策の研究に活かすこととしています。

★詳細は、こちらから(記者発表資料、速度抑制施設の解説等)

<http://www.nilim.go.jp/lab/gdg/>

★道路研究部 HP

<http://www.nilim.go.jp/japanese/organization/road/jroad.htm>